

JABEE関係ガイダンス担当者用メモ(H16年度前期開始時,2年次以上)

○ 担当 クラス担任

1. 資料配布

- 各科目と学科教育目標の対応表
- 学生自己評価票(ポートフォリオ)用紙
- 学生自己評価票の使用について

2. 学科教育目標についてのおさらい

- 「舊市システム工学科JABEE説明会[資料]」2004. 2. 12/17 を受け取っていない学生(説明会欠席者)に配布
- 全員への注意: 同資料は、「工学部履修案内」(01T以前の学生は「工学部履修要項」)と一緒にして保管しておく。受講科目の選択などの時 シラバスとあわせて参照すること
- 「学生自己評価票の使用について」の後にある概要を用いて、再確認する

3. 学生自己評価票の説明

- 「学生自己評価票の使用について」を使って、評価票のねらい、記入方法、担任にチェックを受ける方法を説明する

4. 参考 学生の受講科目数実績(ある学年の例、認定単位・リターンを含む)

		平均	最大
1年	前期	15.5	27
	後期	14.6	19
2年	前期	17.3	22
	後期	17.4	22
3年	前期	15.2	22
	後期	11.9	22

学生自己評価票の使用について

[卒業まで保存]

薮市システム工学科(JABEEワーキング)

1. 学生自己評価票のねらい

すでにJABEE認証を受けてきたように、薮市システム工学科では、皆さんが社会に出て役に立つような10種類の目標のすべてについてまんべんなく最低限必要な水準を達成してもらいたいと考えています。さらに、皆さんの個性に応じて、さまざまな分野や教育目標を選択して一貫の力をつけ発長していくことを望んでいます。

学生自己評価票は、前掲のねらいに沿って、まんべんなく力をつけて行っているかをチェックするためのデータとなります。これは皆さん自身が所有し、自分で学期ごとに内容を更新し、卒業までの間、必要に応じて参考材料として自分の力を長期間、継続的に蓄積できるようにすることがねらいです。成績通知票と同様、一切他人に見せることのないものですが、担任が指導のため定期的に提出を求めます。また、思ったように単位が取れず教員に相談するような時に、極めて重要な働きをします。

学生の皆さんは、以上の主旨を理解して、下記の指示に従いこのシートを活用してください。

2. 学生自己評価票の記入方法と、提出時期

(1) 学期の初めに、受講計画を立てる際

- 受講予定の科目のすべてについて必要事項を記入してください(リターンも)
- 「各科目と学科教育目標の対応表」を参照して、「教育目標」の欄に、それぞれの科目の受講によって達成される教育目標項目のところに◎○印を記入してください
- 「各科目と学科教育目標の対応表」に記載していない科目については、左側部分のみ記入します
- 次学期以降は、前学期までで達成できなかった目標項目が補充されるような授業選択を心がけてください
- 今学期に特に心がけたいことを「今学期の期待・努力目標」の欄に記入してください。次学期以降は、この欄は、一番はじめに前学期までの単位取得状況の参考などに基づいて記入してください
- 単位の取得状況に問題があるなど、担任から相談に来るように指示を受けた学生は、以上を記入した上で担任のところに行ってください

(2) 学期開始から一週間後

- 受講を取りやめる科目については、記入した上から2本線を引いてください
- さらに取りやめる理由を、備考欄にメモしておいてください
- 単位認定が認められたものや、他大学の受講が認められた科目があれば、追加で記入してください
- 記入が終わったら、全員学年担任に提出します。担任は控えを取って、数日中に返却します

(3) 学期途中

- 原則として、途中で受講を取りやめることは望ましくありませんが、やむをえず取りやめる場合などは、(2)と同じように、理由などを記入しておいてください
- その他、必要に応じて、授業への熱意などに変化があったときには、記録しておくことが望まれます

(4) 単位取得についての発表後

- 単位が取得できなかった科目は、**単位数**、◎ ○ 印の上から × 印を書いてください
- ひとつの科目で複数の教育目標が設定されている科目については、授業担当'から、教育目標ごとの評価が各自に返されます。それに基づいて、達成できなかった項目について ◎ ○ 印の上から × 印を書いてください
- × 印がついた場合は、その理由や× 単点、また授業担当'からのアドバイスなどがあれば、それらを備考欄にメモしておいてください
- 単位が取得でき、かつ以上の記入が終わった科目は、「取得済」欄に ○ 印を書いてください
- その学期で取得できた ◎ ○ 印の個数を数えて(次学期以降は、前学期分と合算して)、その個数を「達成度の集計」の欄に記入してください
- 同様に取得できた単位数も集計し、成績通知票の合算単位数と見比べ確認してください
- 学期全体を見渡して、当初の予定通りに単位が取得できたか、単位を落としたことによって教育目標の項目で達成度が低いままのものがないか確認してください
- 思い通りに単位を取得できなかったような場合に、その理由や× 単点を、「今学期の× 単」の欄(裏面)に記入してください。
- 以上は、新学期の履修科目が決める前(上番、(1)または(2)で担任に提出する時期まで)に、記入を終えてください

3. もう一度、提出時期のまとめ

- すべての学生について

学期開始から約1週間後、掲示などで担任に提出するように指示が出されます。

その時までに、前学期分のまとめと、新学期の予定をすべて記入して提出してください。

数日中に返却するので、大切に保管しておいてください。なお、必要に依り、返却時に面談することもあります。

- 特に担任から指示があった場合

前学期の成績が出た直後など、達成度が思わしくない学生に対して、適宜、面談等を行います。

その時までに、前学期分のまとめと、新学期の予定までをすべて記入して持参してください。

科目と学科教育目標の対応表

H16.4

時間割 コード	担当教官	授業科目名	学年	学期	教育目標との対応												
					I-i)	I-ii)	I-iii)	I-iv)	I-v)	I-vi)	II-i)	II-ii)	II-iii)	II-iv)			
T7603	佐々木正祥	図学	1年次	前期	-	-	-	◎	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
T7605	都市システム工学科教官	都市システム工学序論	1年次	前期	◎	◎	-	-	-	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-
T7609	金利昭	土木計画論	2年次	前期	◎	◎	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
T7617	小柳武和・神子直之・桑原祐史	リモートセンシングおよび環境計測法	2年次	前期	-	-	◎	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
T7619	呉智深	構造力学Ⅰ	2年次	前期	◎	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	◎	-	-
T7621	三村信男	水理学Ⅰ	2年次	前期	-	-	◎	-	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-
T7623	安原一哉	土の力学Ⅰ	2年次	前期	-	-	-	-	-	-	◎	◎	-	-	-	-	-
T7628	金利昭、山田稔、志摩邦雄	土木計画論演習	2年次	前期	◎	◎	-	-	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-
T7631	神子直之	上下水道工学	2年次	前期	-	-	◎	-	-	-	◎	◎	-	-	-	-	-
T7632	金利昭	社会システム分析	2年次	前期	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	◎	-	-	-	-	-
T7633	小柳武和、志摩邦雄	都市システム工学製図	2年次	前期	-	-	-	◎	-	◎	-	◎	-	-	-	-	-
T7669	呉智深、安原一哉、三村信男	建設工学演習Ⅰ	2年次	前期	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	◎	-
T7636	神子直之、日置佳之	生態学	3年次	前期	-	-	◎	-	-	-	◎	◎	-	-	-	-	-
T7638	山田稔	計画数理	3年次	前期	-	-	-	-	-	◎	◎	◎	-	-	-	-	-
T7639	横山功一	鋼構造及び橋梁工学	3年次	前期	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
T7640	井上涼介	地震及び振動工学	3年次	前期	◎	-	◎	-	-	-	◎	◎	-	-	-	-	-
T7643	小峯秀雄	基礎地盤工学	3年次	前期	-	-	-	-	◎	-	-	◎	-	-	-	◎	-
T7653	都市システム工学科教官	都市システム工学トピックスⅠ	3年次	前期	◎	-	-	-	◎	◎	-	◎	◎	◎	-	-	-
T7654	福澤公夫	都市システム工学専門ゼミナールⅠ	3年次	前期	-	-	◎	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
T7659	山形、小柳、金、山田、桑原、志摩	都市システム設計演習Ⅰ	3年次	前期	◎	-	-	◎	◎	-	-	-	-	-	-	◎	◎
T7666	都市システム工学科教官	都市システム工学学外実習	3年次	前期	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
T7675	小柳武和、志摩邦雄	空間設計	3年次	前期	◎	-	-	◎	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
T7665	小峯秀雄	土木行政(小峯分)	4年次	前期	-	-	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T7665	沼尾達弥、横山功一、他	土木行政(横山、三上分)	4年次	前期	-	-	◎	-	-	-	-	-	-	◎	◎	-	-
T7666	都市システム工学科教官	都市システム工学トピックスⅡ	4年次	前期	◎	-	-	-	◎	◎	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎
T7668	沼尾達弥	建築構造設計	4年次	前期	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
T7608	福澤公夫	建設材料学	1年次	後期	-	-	-	-	-	◎	-	◎	-	-	-	-	-
T7630	山形耕一	都市・地域計画	1年次	後期	◎	◎	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
T7613	横木裕宗	数理統計Ⅱ	2年次	後期	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
T7616	横木裕宗、桑原祐史、信岡尚道	都市システム情報処理	2年次	後期	-	-	-	-	◎	-	◎	◎	-	-	-	-	-
T7618	桑原祐史、志摩邦雄	測量学実習	2年次	後期	-	-	-	-	-	◎	-	◎	-	-	-	-	-
T7620	横山功一	構造力学Ⅱ	2年次	後期	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
T7622	横木裕宗	水理学Ⅱ	2年次	後期	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
T7624	安原一哉	土の力学Ⅱ	2年次	後期	-	-	◎	-	-	-	◎	◎	-	-	-	-	-
T7626	沼尾達弥	コンクリート構造学	2年次	後期	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
T7627	三村信男	地球環境工学	2年次	後期	◎	◎	◎	-	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-
T7629	小柳武和	景観工学	2年次	後期	-	-	-	-	◎	-	◎	◎	-	-	-	-	-
T7637	金利昭	交通システム(金分)	2年次	後期	-	-	-	◎	-	-	-	◎	-	-	-	-	-
T7637	山田稔	交通システム(山田分)	2年次	後期	◎	-	◎	-	◎	◎	-	◎	-	-	-	-	-
T7670	横山功一、安原一哉、横木裕宗	建設工学演習Ⅱ	2年次	後期	-	-	-	-	-	-	-	◎	◎	-	-	-	-
T7634	小峯秀雄	地下構造学	3年次	後期	-	-	-	◎	◎	-	-	◎	-	-	-	◎	-
T7642	三村信男、横木裕宗	海岸工学	3年次	後期	-	-	◎	-	-	-	◎	◎	-	-	-	-	-
T7650	沼尾達弥	都市設備及び住居環境	3年次	後期	-	-	-	-	-	-	-	◎	◎	-	-	-	-
T7657	横木裕宗、信岡尚道	都市システム工学実験Ⅰ(波の性)	3年次	後期	-	-	◎	-	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-
T7657	沼尾達弥	都市システム工学実験Ⅰ(材料実験)	3年次	後期	-	-	-	-	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-
T7658	都市システム工学科教官	都市システム工学実験Ⅱ	3年次	後期	-	-	-	-	-	◎	◎	-	◎	-	-	-	-
T7660	都市システム工学科教官	都市システム設計演習Ⅱ	3年次	後期	-	-	-	-	-	-	◎	◎	-	-	-	-	-
T7661	呉智深	構造工学	3年次	後期	◎	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
T7674	福澤公夫、横山功一	建設施工(横山分)	3年次	後期	-	-	◎	-	-	-	-	◎	-	-	-	◎	-

注) 未掲載の科目については、今後追加されることがある

学科の教育目標
I-i) 広い視野と柔軟な思考
I-ii) 地域・文化・市民社会への素養
I-iii) 環境観
I-iv) デザイン能力、システムの計画・設計能力
I-v) 課題探求能力
I-vi) 自律的・継続的学習能力
II-i) 技術者としての基礎力
II-ii) 専門基礎学力
II-iii) 技術者倫理
II-iv) 実際問題への応用力

学生自己点検票 (書式作成:H16.4)

学期 _____ 年 前・後期 番号 _____

氏名 _____

授業 コード	科目名	担当 教官	授業時間 曜・時間	オフィス アワー 曜・時間	単 位 数	教育目標I						教育目標II				取 得 済	備 考
						i)	ii)	iii)	iv)	v)	vi)	i)	ii)	iii)	iv)		
達成度の集計				このページの合計													
				前ページからの累計													

今学期の期待・努力目標

授業 コード	科目名	担当 教官	授業時間 曜・時間	オフィス アワー 曜・時間	単 位 数	教育目標I						教育目標II				取 得 済	備 考
						i)	ii)	iii)	iv)	v)	vi)	i)	ii)	iii)	iv)		
達成度の集計				このページの合計													
				前ページからの累計													

今学期の反省
